

医科学（Ⅱ）

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）、医学部各講座

第5学年 前期・後期

	講義	
前期	30 コマ	45 時間
後期	12 コマ	18 時間

教育成果（アウトカム）（講義）

高齢化社会となり、生活習慣病などの増加により動脈硬化性疾患や糖尿病などが増加して疾病構造に変化がみられる。また医科診療では高度先進医療や新しい治療法（薬物療法や非薬物療法）が導入されている。主要内科疾患の病態生理、最新の治療法やガイドランの基本的知識、内科救急対応の基本的知識を習得することで、このような高齢化社会に対応できる歯科医師が養成される。また、心臓血管外科、頸動脈内膜剥離術、肝臓移植など外科系手術の概要と腎臓透析、骨粗しょう症、皮膚疾患、眼科疾患、周産期医療など口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、災害時の医療や個人認識、EBM とガイドラインやクリティカルパスなど最新の情報についても理解することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。（ディプロマ・ポリシー：3、4、6、8、9）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

（講義時間：90分（4限：13時～14時30分、5限：14時40分～16時10分））

【講義室：歯学部4階第2講義室】

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月21日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	千葉俊美 教授	1. 先天性心疾患と感染性心内膜炎と予防	ユニット5 歯科診療に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な先天性心疾患と感染性心内膜炎の病態と予防を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 先天性心疾患の主要な病態、症候、診断 2. 感染性心内膜炎の主要な病態、症候、診断 3. 感染性心内膜炎予防のためのガイドライン [E-6-②]	先天性心疾患、Fallot 四徴症、チアノーゼ、感染性心内膜炎、レンサ球菌感染症、敗血症、弁膜症、抗菌薬
4月21日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	千葉俊美 教授	2. 高血圧症	ユニット5 歯科診療に影響する疾患 ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な高血圧症の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 高血圧症の病態、症候、診断 2. 高血圧症の治療ガイドライン 3. 高血圧症例での歯科治療の留意点 [E-6-②]	本態性高血圧症、二次性高血圧症、降圧薬
4月28日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	千葉俊美 教授	3. 虚血性心疾患	ユニット5 歯科診療に影響する疾患 ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な虚血性心疾患の主要症候と病態生理について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 虚血性心疾患の病態、症候、診断 2. 胸痛を訴える患者の対応と鑑別疾患 3. 虚血性心疾患での歯科治療の留意点 [E-6-②]	狭心症、心筋梗塞症、急性冠症候群、心筋虚血、ST 上昇、ST 下降、血管内治療、ステント、抗血小板薬

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月28日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	千葉俊美 教授	4. 心臓弁膜症 と心不全	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な心臓弁膜症と 心不全の主要症 候と病態を理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 弁膜症の主要な病態、 症候、診断 2. 心不全の主要な病態、 症候、診断 3. 抗凝固療法例での歯 科治療 [E-6-②]	弁膜症、僧房弁閉鎖 不全症、大動脈弁狭 窄症、人工弁、左心 不全、右心不全、起 座呼吸、浮腫、肝腫 大、抗凝固療法、ワ ルファリン
5月12日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	心臓血管 外科学講座 小泉淳一 特任講師	5. 冠動脈バイ パス術、感 染性心内膜 炎と弁膜症 の外科		冠動脈バイパス 術、感染性心内膜 炎と弁膜症の主 要症候と病態生 理、手術方法につ いて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症 [E-6-②]	冠動脈バイパス術、 オフポンプバイパス 手術(OPCAB)、感染 性心内膜炎 人工弁 ワーファリン
5月12日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	中居賢司 客員教授	6. 循環器疾患 診療の進歩 と歯科医療 での課題～ 不整脈疾患 と植込み型 電子機器な ど	ユニット5 歯科診療 に影響す る循環器 疾患診療 の進歩	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な循環器疾患診 療の進歩～不整 脈などの主要症 候と病態を理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔（歯科）診療に必 要な循環器疾患診 療の進歩 2. 歯科治療中の主な不 整脈発作の心電図上 の特徴 3. 心房細動での抗凝固 療法について 4. ペースメーカー、植込 み型除細動器の意義 5. 大動脈弁狭窄症での 歯科治療 [E-6-②]	期外収縮、心房細動、 心室頻拍、心室細動、 房室ブロック、心臓 ペースメーカー、埋 込み型除細動器 (ICD)、心臓再同期 療法(CRT)、大動脈 弁狭窄症
5月19日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	脳神経内 科・老年科分 野 前田哲也 教授	7. 神経変性疾 患、その他 の神経疾患	ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な脳神経系の病 態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. Parkinson 病と類縁 疾患、認知症疾患 2. その他の代表的神経 疾患 [E-6-②]	Alzheimer 病と認知 症疾患、Parkinson 病と類縁疾患、神経 感染症、脱髄性疾患、 末梢神経疾患、筋疾 患
5月19日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	脳神経内 科・老年科分 野 板橋亮 教授	8. 脳血管障害	ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な脳血管の病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 脳卒中と脳機能局在 2. 脳血管の解剖 [E-6-②]	脳血管障害(脳梗塞、 脳出血)、巣症状
5月26日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	救急医学 分野 井上義博 教授	9. 救急医療	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な救急医療の主 要症候と病態等 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 岩手医科大学の救急 医療システム 2. 救急医療の現状と対 応 3. 頭頸部外傷の現状と 対応 4. ドクターヘリの現状 5. トリアージ [E-6-②]	救急医療、救急医療 システム、頭頸部外 傷、交通外傷、ドク ターヘリ、トリアー ジ

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
5月26日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	総合診療医 学分野 高橋智弘 講師	10. 内科救急へ	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な内科救急の主 要症候と病態の 理解と対処法を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 一次救命処置 (BLS) : 心肺蘇生+AED 2. 意識障害患者と窒息 患者への初期対応 3. 二次救命処置 (ALS) 4. 心停止の鑑別診断 [E-6-②]	気道確保、胸骨圧迫、 人工呼吸、心室細動、 AED
6月2日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	外科学講座 高原武志 講師	11. 臓器移植		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な臓器移植につ いて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 臓器移植の歴史 2. 臓器移植法 3. 拒絶反応 4. 移植片対宿主病 5. 肝臓移植 6. 肝臓移植例での歯科 治療 [E-6-②]	移植、免疫抑制剤、 肝硬変、黄疸、意識 障害
6月2日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	中里龍彦 非常勤講師	12. 頭頸部の画 像診断と治 療への応用		口腔（歯科）診療 を行う上で頭頸 部腫瘍の画像診 断により病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔と周辺臓器の画 像解剖 2. 頭頸部腫瘍の画像所見 3. 悪性腫瘍の病期分類 4. 頭頸部領域の Interventional Radiology (IVR) [E-6-②]	画像解剖、腫瘍の画 像診断、病期分類、 IVR
6月9日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	田中良一 教授	13. 救急の画像 診断		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な救急あるいは 併存症の画像診 断について理解 する	以下の項目について説 明できる。 1. アレルギーにより生 じる画像所見 2. 誤嚥・誤飲による画 像所見 3. 併存症の急変時画像 所見 [E-6-②]	肺水腫、ARDS、誤嚥 性肺炎、異物誤飲、 気胸、縦隔気腫、急 性大血管疾患
6月9日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	呼・ア・膠 内科分野 内海 裕 助教	14. アレルギー 疾患へのア プローチ	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 なアレルギー疾 患の主要症候と 病態、緊急の対 応法を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. アレルギーの分類、機 序と代表的疾患 2. 気管支喘息の病態 3. アナフィラキシーシ ョックの病態 [E-6-②]	気管支喘息、アナフ ィラキシーショッ ク、薬物アレルギー
6月16日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	15. 消化器良性 疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な消化器疾患に ついて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機 序と鎮痛・消炎薬 3. ピロリ菌感染症 4. 消化管憩室 [E-6-②]	胃酸分泌機構、消化 性潰瘍、消化性潰瘍 の発生機序、ピロリ 菌感染症、アラキド ンサンカスケード、 憩室症

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
6月16日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	消化器内科 肝臓分野 柿坂啓介 講師	16. 肝疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な肝、胆、膵疾患 について理解す る。	以下の項目について説 明できる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構 造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価 方法 3. ウイルス性肝炎の主 要な症候、病態 4. 肝硬変の病態 [E-6-②]	肝機能、肝障害 ウイルス肝炎（B型 およびC型肝炎ウイ ルス）、肝硬変、肝癌
6月23日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	外科学講座 佐々木章 教授	17. 消化器疾患 と外科治療		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な消化器疾患と 外科治療につい て理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 消化器疾患の主要な 病態と症候 2. クリニカルパス 3. 内視鏡外科手術 4. 全身管理に注意すべ き消化器疾患 5. 高齢者歯科診療で注 意すべき消化器疾患 [E-6-②]	消化器疾患、貧血、 黄疸、術前管理、術 中管理、術後管理
6月23日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	田中良一 教授	18. PET 診療の 基礎知識		がん診療におけ る PET の役割と 限界を理解する。	PET の以下の項目につ いて説明ができる。 1. 画像化の原理 2. 偽陽性と偽陰性 3. 検査の前処置 4. 医療従事者の放射線 防護 5. 検査の適用 [E-6-②]	ポジトロンエミッシ ョントモグラフィ (PET)、悪性腫瘍、 炎症、放射線防護、 適用
6月30日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	千葉俊美 教授	19. 上部消化器 悪性疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な上部消化器悪 性疾患について 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 食道の解剖、機能 2. 食道癌の危険因子、 疫学、検査、治療 3. 胃の解剖、機能 4. 胃癌の危険因子、疫 学、検査、治療 [E-6-②]	食道癌、胃癌
6月30日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	外科学講座 大塚幸喜 准教授	20. 下部消化管 疾患と外科 治療		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な下部消化管疾 患と外科治療に ついて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 大腸の解剖、機能 2. 大腸癌の危険因子、 疫学、検査、治療 3. 大腸ポリープ・ポリ ポーシス [E-6-②]	大腸癌、 Peutz-Jeghers 症候 群、Gardner 症候群
7月7日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	整形外科学 講座 村上秀樹 准教授	21. 整形外科学 総論 - 骨 粗しょう症		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な整形外科学の 意義を理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 整形外科学的疾患の主 要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療 （ビスフォスフォネ ート） 3. 頸椎症性脊髄・神経根 症と治療 [E-6-②]	整形外科学的疾患、 骨粗しょう症、ビス フォスフォネート、 顎骨壊死、頸椎症、 脊髄症、神経根症、 ロコモティブシンド ロームと腰痛疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
7月7日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	整形外科 講座 大竹伸平 助教	22. 関節リウマ チと外科治 療		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な関節リウマチ の病態と外科治 療を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 関節炎の概要 2. 関節リウマチの概要 と治療 [E-6-②]	関節炎、関節リウマ チ、脊髄障害、開口 障害、嚥下障害
7月14日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	血液腫瘍 内科分野 佐々木了政 助教	23. 血液疾患と 骨髄移植	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な血液疾患の病 態と骨髄移植を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 血液細胞の基本的な 機能 2. 白血病の主要な症候、 病態と歯科治療上の 留意点 3. 骨髄移植 [E-6-②]	白血病、白血病、急 性骨髄性白血病、急 性リンパ性白血病、 ATL、悪性リンパ腫 骨髄移植
7月14日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	鈴木 順 客員准教授	24. 心身医学総 論	ユニット8 心身医療 と歯科心 身症	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な心身医学的疾 患の主要症候と 病態を理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 心身症の定義 2. bio-psycho-social medical model 3. 主要な歯科心身症の 疾患名、症候、対応 [E-6-②]	心身症・心身医学 口臭症、舌痛症、顎 関節症、口腔異常感 症、味覚異常、歯科 恐怖症
7月21日 (火) 1限 (8:50~ 10:20)	千葉俊美 教授	25. 膠原病疾患 と後天性免 疫不全症候 群	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な代表的な膠原 病や HIV 感染、 AIDS の主要症候 と病態を理解す る。	以下の項目について説 明できる。 1. 関節リウマチ、SLE、 シェーグレン症候群 などの代表的膠原病 の症状と合併症 2. HIV 感染、AIDS の主 要症候 3. ドライマウスの症状 および機序 [E-6-②]	膠原病、リウマチ性 疾患、SLE、シェー グレン症候群、HIV 感染、AIDS、ドライ マウス
7月21日 (火) 2限 (10:30 ~12:00)	千葉俊美 教授	26. 赤血球の疾 患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な赤血球の機能 と血液疾患の病 態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 貧血の症候、病態 2. 鉄欠乏性貧血 3. 再生不良性貧血 4. 悪性貧血 5. Plummer-Vinson 症 候群 [E-6-②]	鉄欠乏性貧血、再生 不良性貧血、巨赤芽 球性貧血、悪性貧血 Plummer-Vinson 症 候群
7月21日 (火) 3限 (13:00 ~14:30)	頭頸部外科 学科 志賀清人 教授	27. 咽喉頭解剖 生理と疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な咽喉頭解剖生 理と疾患 を理解する	以下の項目について説 明ができる。 1. 咽喉頭の解剖と生理 2. 嚥下のメカニズム 3. 反回神経麻痺の原因 と症状 4. 咽喉頭の疾患の症状 と治療 [E-6-②]	咽喉頭、嚥下のメカ ニズム、反回神経麻 痺、咽喉頭の疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
7月21日 (火) 4限 (14:40 ～16:10)	耳鼻咽喉科 学講座 桑島 秀 助教	28. 鼻・副鼻 腔解剖生理 と疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な鼻・副鼻腔の解 剖生理と疾患を 理解する	以下の項目について説 明ができる。 1. 鼻・副鼻腔の解剖と生 理 2. 鼻・副鼻腔の疾患の症 状と治療 3. 食道異物、気管支異物 に対する検査・治療 [E-6-②]	鼻・副鼻腔の疾患 食道異物、気管支異 物
8月18日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	耳鼻咽喉科 学講座 平海晴一 准教授	29. 聴覚・平衡 解剖生理		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な聴覚・平衡解剖 生理の意義を理 解する	以下の項目について説 明ができる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚・平衡生理 4. 聴覚検査 [E-6-②]	側頭骨解剖、伝音機 構、内耳、平衡生理、 聴覚検査、難聴
8月18日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	外科学講座 佐々木章 教授	30. 内分泌・代 謝疾患と外 科治療		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な内分泌・代謝疾 患の病態、周術期 管理と治療につ いて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 甲状腺・副甲状腺の解 剖と生理 2. 膵臓の解剖と生理 3. 副腎の解剖と生理 4. 肥満症の病態 5. 口腔症状を呈する内 分泌・代謝疾患 6. 甲状腺機能亢進症の 周術期管理と治療 7. 肥満症の周術期管理 と治療 [E-6-②]	体重減少、体重増加、 頻脈、徐脈、血圧上 昇、下痢、甲状腺機 能亢進症、甲状腺機 能低下症、副甲状腺 機能亢進症、Cushing 病、アルドステロン 症、糖尿病
9月1日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	脳神経外科 学講座 小笠原邦昭 教授	31. 脳血管障害 の病態と外 科治療およ び意識障害 (脳死)		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な脳血管障害の 病態と外科治療 および意識障害 (脳死)について 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 脳卒中の病態(脳内出 血、くも膜下出血、脳 梗塞) 2. 脳血管障害の外科治 療(脳動脈瘤、頸動脈 硬化症、内膜剝離術) 3. 意識障害の機構 4. 脳死の判定 [E-6-②]	脳卒中、脳内出血、 くも膜下出血、脳梗 塞、心原性脳塞栓症、 凝固線溶、抗凝固薬、 抗血小板薬、脳動脈 瘤、脳動脈瘤クリッ プ、頸動脈硬化症、 内膜剝離術、遷延性 植物状態、脳死
9月1日 (火) 5限 (14:40 ～16:10)	千葉俊美 教授	32. 糖尿病、高 脂血症への アプローチ	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な糖尿病、高脂血 症の主要症候と 病態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 糖代謝の主要な症候、 病態 2. 高脂質血症の主要な 症候、病態 [E-6-②]	糖尿病、ランゲルハ ンス島、経口糖尿病 薬、インスリン、低 血糖、低血糖症、糖 尿病の慢性合併症 (網膜症、腎症、神 経障害)、易感染性、 糖・脂質代謝
9月8日 (火) 4限 (13:00 ～14:30)	千葉俊美 教授	33. 内分泌疾 患・甲状腺 疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な代謝性疾患と 甲状腺疾患の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 代謝疾患の主要な症 候、病態 2. 甲状腺疾患の主要な 症候、病態 [E-6-②]	甲状腺機能亢進症、 バセドウ病、甲状腺 機能低下症、原発性 アルドステロン症、 クッシング症候群、褐 色細胞腫

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
9月8日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	医療開発 研究部門 西塚 哲 特任教授	34. 腫瘍の発生、 転移、 がん遺伝子 と化学療法		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な腫瘍の発生、転 移、がん遺伝子 の意義を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 腫瘍の概念、病因 2. 腫瘍の発育様式、転移 3. がん遺伝子・がん抑制 遺伝子 4. 悪性腫瘍の症候、病態 と診断 5. 抗癌剤の種類と作用 機序 [E-6-②]	腫瘍、転移、がん遺 伝子、がん抑制遺伝 子、アポトーシス、 分子標的マーカー、 化学療法
9月15日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	35. 身体所見と リスク評価 と内科救急 疾患と主要 徴候		歯科診療時に全 身状態を把握し、 内科疾患と症候 の理解。特に緊急 性の高い疾患に ついて理解する。	以下の所見と症候の発 現機序を説明し、代表的 疾患を列挙できる。 1. バイタルサイン（体 温、脈拍、血圧、呼吸） の原理と測定 2. 胸痛、ショック 3. 頭痛、意識障害 4. 呼吸困難、出血 [E-6-①, E-6-②]	バイタルサイン（体 温、脈拍、血圧、呼 吸）、眼瞼結膜、眼球 結膜、口唇チアノー ゼ、狭心症、心筋梗 塞、自然気胸、脳梗 塞、脳出血、過換気 症候群、喘息発作
9月15日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	腎・高血圧内 科 旭 浩一 教授	36. 腎疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患 ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な腎疾患の主要 症候と病態、治療 を理解する。	以下の項目について歯 科診療との関連を説明 できる。 1. 腎・尿路系の主要な症 候、病態、治療（ステ ロイドを含む） 2. 内分泌系の主要な症 候、病態、治療 [E-6-①, E-6-②]	蛋白尿、血尿、脱水、 浮腫、腎機能、糸球 体腎炎、ネフローゼ 症候群、慢性腎臓病、 急性腎障害、ミネラ ル骨代謝異常、ステ ロイド療法、透析
9月29日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	外科学講座 小林めぐみ 助教	37. 小児外科疾 患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な小児外科疾患 について理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 代表的な小児外科 疾患 2. 新生児・小児に対す る周術期管理の注 意点 [E-6-②]	嘔吐、チアノーゼ、 黄疸
9月29日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	超高磁場M R I 診断・病 態研究部門 佐々木真理 教授	38. 超高磁場 MRI の現状 と臨床応用		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な MRI 画像診断 の基礎知識と臨 床的意義を理解 する。	以下の項目について説 明ができる。 1. MRI の原理 2. 脳画像所見 3. 機能的 MRI 4. 頭頸部疾患の MRI [E-6-②]	MRI、超高磁場、脳 画像、機能的 MRI、 頭頸部疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標 (SB0s) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
10月20日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	39. 出血性疾患 と抗凝固・ 抗血小板療 法	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な出血性疾患、凝 固・線溶系 の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 出血傾向をきたす疾 患の概要 2. 特発性血小板減少性 紫斑病 3. 血友病、Von Willebrand 病など 4. 種性血管内凝固症候 群 (DIC) 5. 凝固・線溶系の主要な 症候、病態 6. 抗凝固療法や抗血小 板療法 [E-6-②]	特発性血小板減少性 紫斑病、血友病、播 種性血管内凝固症候 群 (DIC)、凝固因子、 抜歯後出血 ワルファリン、アス ピリン、クロピドグ レル、シロスタゾー ル、抗凝固療法、抗 血小板療法
10月20日 (火) 5限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	40. 胆・膵疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な胆・膵疾患の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 胆道疾患の主要な症 候、病態 2. 膵疾患の主要な症候、 病態 [E-6-②]	胆嚢結石症、総胆管 結石、急性胆嚢炎、 急性胆管炎、胆嚢癌、 胆管癌、急性膵炎、 慢性膵炎、膵癌
10月27日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	41. 最近話題の 消化器疾患		口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な最近話題の消 化器疾患の主要 症候と病態を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 機能性消化管疾患の 主要な症候、病態 2. 慢性便秘症の主要な 症候、病態 [E-6-②]	機能性ディスペプシ ア、過敏性腸症候群、 慢性便秘症、腸内細 菌
10月27日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	祖父江憲治 学長	42. 特別講演 医療人とし ての心構え				

教科書・参考書

書名	著者氏名	発行所	発行年
☆歯科内科 Little and Falace's Dental Management of the Medically Compromised Patient 9th ed.	James W. Little et al.	Mosby	2017年刊行
歯科内科配布資料	中居賢司 編集※		2013年 ver4
内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
今日の治療薬：解説と便覧 2020年版	浦部晶夫ほか編	南江堂	2020年
☆外科学 標準外科学 15版	北野正剛監修 坂井義治ほか編集	医学書院	2019年
☆皮膚科学 歯科医のための皮膚科学 2版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
☆整形外科 標準整形外科 13版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2017年
☆耳鼻咽喉科学 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3版	鈴木淳一、中井義明、平野実 著	医学書院	1997年

成績評価方法

定期試験（前期試験 1/2，後期試験 1/2） 100%
*各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施